

沖縄の経済振興に関する私案

ブルームーンパートナーズ株式会社
代表取締役 伊波 貢

〈沖縄経済における課題〉

- 産業全般に生産性が低く、付加価値を高められていない（今なお低い一人あたり県民所得）
- 交通やコンテンツを含めて外国人に対応した街となっていない
- 観光客の平均滞在日数や一人あたり県内消費額の伸び悩み
- キャッシュレス化や英語表記などの対応の遅れ
- 慢性的な交通渋滞の発生
- サービス業など一部の業種ではまだ非正規雇用が多く平均給与が低い
- 沖縄観光における質の向上がはかされていない
- 高い沖縄の子どもの貧困率
- あらゆる産業における慢性的な人手不足
- 経済振興に関する中長期的な戦略構築力の弱さ

〈沖縄および日本を取り巻く社会環境の変化〉

- 日本の総人口は急速に減少
- アジア各国では目覚ましい経済成長を継続
- シングュラリティー時代の到来
- 若者の旅行離れ
- アジア人の海外旅行需要の拡大
- 外国人雇用に関する環境整備進展
- グローバル化の進展（外国企業による企業買収の増加など）
- 日本経済力の相対的な低下

〈今後の沖縄経済における重要な視点〉

今後、10年でプラットフォーム・OSが劇的に変わる！

雇用創出を目標としていた時代は終わり、雇用を確保できない時代、シングュラリティー時代、急速なグローバル化時代にどう立ち向かうかが重要になってくる。

《向かうべき基本方向》

- ① 内外の民間活力を活用した産業振興
- ② 世界一幸せなアイランド（島）というブランドイメージの創造
- ③ 沖縄が勝てる分野、沖縄の強みにフォーカスした経済戦略の実践

沖縄の経済振興に係る 10 の提案

1. エンターテイメントアイランドの創造
2. デザイン・アイランドの構築
3. 実質的経済自立政策の展開
4. 人口増加政策の実行
5. 先進的交通インフラ網の整備
6. 官公庁人材のプロフェッショナル化
7. グローバル力の強化
8. ECO-ICT な離島生活の実現
9. アイランドライフ産業の育成
10. シンクタンク&ファンド機能の強化

以 上